

## 第 48 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会開催ご案内

総会開催にあたって

会 長 一 戸 辰 夫

(広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野)

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、2015年1月30日(金)、31日(土)の両日、被爆後70周年を迎える広島におきまして、第48回日本無菌生物ノートバイオロジー学会を開催いたしますのでご案内申し上げます。

本学会は、1968年1月に初代会長の宮川正澄先生、藤原彰夫先生、佐々木正五先生らにより設立され、無菌生物学に関心を有する医歯薬学、動植物学、農学、工学など幅広い分野の研究者が一堂に会して、領域横断的に自由闊達なディスカッションを行うユニークな学会として発展を遂げて参りました。会員の皆様には奮ってご参加いただき、多くのご発表とご議論をいただけますようお願い申し上げます。

今回の総会では、「無菌生物学が開く免疫系の新たな理解」をテーマに、特別講演2題、シンポジウム2題、さらに一般演題より構成いたしました。学会会場の広島大学広仁会館は、広島駅からも至近の距離にあり、利便性にすぐれた場所にあります。また懇親会は、冬の広島ならではの味覚と美しい夜景をお楽しみいただくために、陸続きで広島湾に浮かぶ宇品島での開催を予定しております。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会 期	2015年(平成27年)1月30日(金)～1月31日(土)
会 場	広島大学医学部広仁会館 〒734-8551 広島市南区霞1丁目2番3号 TEL:082-257-5098 FAX:082-256-5300
懇 親 会	グランドプリンスホテル広島 2階宴会場「瀬戸内」 〒734-8543 広島市南区元宇品町23-1 TEL:082-256-1111
参 加 費	7,000円 学生1,000円
懇親会費	3,000円

### 1. 日 程 (一部変更の可能性ががあります)

会 場	1月30日(金)	1月31日(土)
広仁会館2階 大会議室	13:00 - 開会の辞、総会	9:00 - 9:45 一般演題
	13:30 - 14:45 一般演題	9:45 - 10:30 特別講演 II
	15:00 - 16:30 シンポジウム I	10:30 - 12:00 シンポジウム II
	16:45 - 17:45 特別講演 I	12:00 - 12:30 会長賞表彰
	17:45 - 18:00 記念写真撮影	閉会の辞
	19:00 - 21:00 懇親会	
グランドプリンス ホテル広島		

特別講演 I 「腸内共生系におけるエピジェネティックな免疫修飾(仮題)」  
慶應義塾大学 薬学部 長谷耕二先生

特別講演 II 「福島原発事故のその後～復興と再生の現状」  
広島大学原爆放射線医科学研究所 神谷研二先生

シンポジウム I 「臨床医歯学における宿主対微生物応答の新展開」

シンポジウム II 「動植物と微生物の共進化」

## 演題申し込み

- a. 対象 本学会会員  
(未入会の方は日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所へご連絡ください)
- b. 締め切り日 2014年(平成26年)10月25日(土)
- c. 申し込み方法 テキスト形式で演題申込書を作成の上、e-mailに添付して、①総会事務局 kumioshi@hiroshima-u.ac.jp と、②学会事務所 osaki@ks.kyorin-u.ac.jp の両方にお送りください。
- d. 演題申込書 ①演題、②発表者(演者の前に○を付けてください)、③所属、④抄録、⑤英文演題、⑥英文発表者、⑦英文所属、⑧英文抄録、⑨住所、⑩電話番号、⑪FAX番号、⑫e-mailアドレスを明記してください。  
①～⑧を「日程と抄録集」B5版1頁に印刷します。

## 例)

①演題	造血器腫瘍例に発症した腸球菌属血流感染症に対するリポペプチド系抗菌薬の有効性
②発表者	○美山貴彦*、大島久美**、一戸辰夫**
③所属	*広島大学病院 血液内科、 **広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野
④抄録	(1200字以内) I. 目的(はじめに等) 腸球菌属は重篤な血流感染症の起因菌として重要であり、特に造血器腫瘍に対する化学療法後に・・・ II. 対象と方法(材料と方法等) 2013年4月から2014年3月までの間に、当科で造血器腫瘍に対する化学療法あるいは造血幹細胞移植を実施された318症例のうち・・・・・・ III. 結果および考察 分離菌の種類と頻度は、 <i>E. faecalis</i> が12例、 <i>E. faecium</i> が7例、 <i>E. gallinarum</i> が2例であった。・・・・・・
⑤英文演題	Clinical efficacy of lipopeptide antibiotics against <i>Enterococcal</i> bloodstream infections in patients with hematologic neoplasms
⑥英文発表者	TAKAHIKO MIYAMA, KUMI OSHIMA and TATSUO ICHINOHE
⑦英文所属	*Department of Hematology, Hiroshima University Hospital, Hiroshima **Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima
⑧英文抄録	(250 words 以内) Enterococci are an important cause of severe bloodstream infections, especially in patients who received cytotoxic therapy for hematologic malignancies. ....
⑨住所	〒734-8553 広島市南区霞1丁目2-3
⑩電話	082-257-5861
⑪FAX	082-256-7108
⑫e-mail	nohe@hiroshima-u.ac.jp

演題の採否は学会および総会事務局へご一任くださいますようお願い申し上げます。演題が採択されましたら、機関誌「無菌生物」に掲載する原稿をご提出いただきます。詳しくは申し込み後にご案内いたします。

## 2. 連絡先

- a. 総会事務局 〒734-8553 広島市南区霞1-2-3  
広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野内  
第48回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会事務局 大島 久美  
Tel:082-257-5861 Fax:082-256-7108 E-mail:kumioshi@hiroshima-u.ac.jp
- b. 学会事務所 〒181-8611 三鷹市新川6-20-2  
杏林大学医学部感染症学講座 大崎 敬子  
Tel:0422-47-5511 内線3464 Fax:0422-44-7325  
E-mail:osaki@ks.kyorin-u.ac.jp